

試練と憧れ 早月尾根からの劔岳

山行日：8月6日～8月9日

参加者：L W辺桂子 SLI谷 ！崎 A原 FJ(記)

コースタイム：

7日：馬場島 7:30—松尾平 8:25—1600m道標 10:50—△1920.7m 12:05—早月小屋 13:50 (泊)

8日：早月小屋 4:45—2614m 6:40—劔岳山頂 8:40/9:00—2614m 11:10—早月小屋 12:40 (泊)

9日：早月小屋 4:55—△1920.7m 6:05—1600 道標 6:45—松尾平 8:20—馬場島 9:00

憧れの早月尾根からの劔岳登頂にチャレンジしてきました。

8月7日

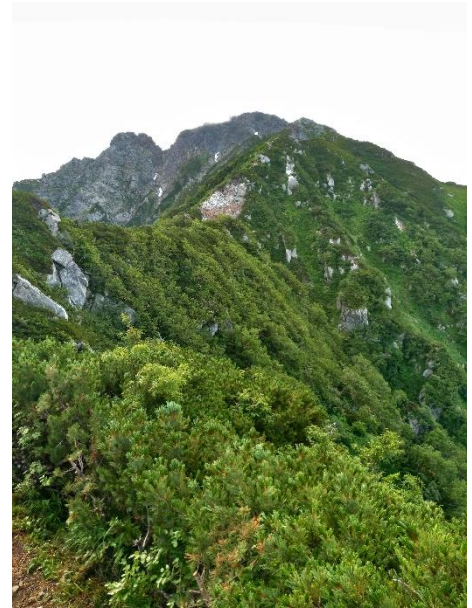
富山県に熱中症警戒アラートが発令される中のスタート、さすがに早朝なのに既に暑い。”試練と憧れ”と書いてある有名な石碑のある登山口から、昨日の富山で食べたお寿司美味しかったなあなんていいながら、寝ぼけ眼でスタートした途端の厳しい急登、異常な暑さと相まって心をへし折られてしまい、以後はコロナで鈍った身体はグダグダとなり、仲間に支えながらの登りとなってしまいました。長大な早月尾根、途中には立山杉の巨木にも出会えます。綺麗なお花もありました。今日は早月小屋までなのに、なんと小屋が遠いこと。何度も休憩をとりながら登りに登って、6時間。あ～っ、小屋が見えたあ！



異常な暑さのせいで、服は汗でプールに入ったようにビショビショでした。

熱中症気味の火照った体には 700 円の冷えたサッポロビールがうまい！これやあ！

小屋からは劔岳山頂が見えます。がぁ、がぁ、えれー、遠いな。。明日はまた早月小屋に泊れることになりました。劔岳山頂までのピストンのみ、ラッキーです！



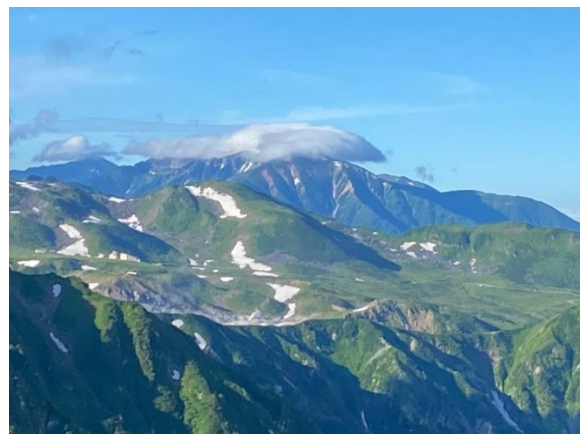
8月8日

今日は山の日早月小屋を 5 時前に出発、晴天です。見上げるような急峻な岩場をとにかく登り詰めていきます。今日はトランスジャパンアルプスレース TJAR2020 のレース初日でした。このレース、日本海から劔岳を經由し北、中央、南アルプスを通して太平洋までの 400 km 以上を駆け抜けるアドベンチャーレースだそうです。岩場でヒーヒー言っている我々を尻目に田中陽希みたいな超人たちがすいすいと急峻な岩場で追い越して行きました。スゲーなあこの人たちー！

鎖場の急登を通過しながらも展望は最高、劔岳の山頂を真上に見ながら、遠くに室堂平のホテルや動く観光バスが見えます。絶景！

鎖場直登、リバースと岩稜を乗り越え、出発から 4 時間、なんとか山頂到着、やったあ！きつかったけれども初めて立った岩の殿堂、劔岳の山頂、夢に見た場所です。嬉しさいっぱい。つかの間の山頂を後に、下りは慎重に慎重に。岩稜は下りが怖い。

お昼には早月小屋に下山、ビール片手に登頂の余韻に浸りました。



8月9日

早朝5時、馬場島に向け下山を開始し、途中で雨具着用となりましたが、長い下山路に閉口しながらも9時には登山口に到着。そして改めて”試練と憧れ”と書いてある石碑の意味を噛み締めているところです。

上市の日帰り温泉”アルプスの湯”で身も心も清めてスッキリ！

その後、富山に出て富山ブラックラーメンを堪能し、プチ観光を楽しんで帰路につきました。天候に恵まれたこと、誠に幸運でした。

台風が三つも発生し、列島を伺わんとしている最中、計画実行を決断し、好天まで呼び込み、我々を劔岳山頂まで連れていってくれたリーダーにただただ感謝！

